

県会議員 奥村のり子の
しん赤旗 読者ニュース

2013年8月4日 第93号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

電話&FAX 073-427-7121



選挙躍進の喜びと期待の声に
身の引きしまる思いです

暑中お見舞い申し上げます。
暑さが厳しい折、お体に充分お気をつけてご自愛下さい。
さて参院選挙後2週間が経ち、喜びの声があちこちから聞こえます。同時に期待の声もいつそう強まっています。その期待に答えなければ自身の引き締まる思いを感じていけません。

進めたいと決意しています。
8月は終戦記念の月、一方では原水禁世界大会や日本母親大会など開催され、平和への願いを世界に大きく発信します。一日も早く戦争のない地球を実現させ、人間が大切にされる社会を築いていかなければと思います。

このちを守り暮らしをよくする
運動をますます皆
さんでいっしょに

今年注目です！

日本共産党の創立は1922年7月15日。毎年、7・8月に記念講演会を開く。今年は8月10日(土)午後2時から「創立91周年記念講演」として東京で開催。インターネットで中継され全国で視聴できる。志位委員長は参院選躍進で『第3の躍進の波』の始まりをどう述べるか注目したい。昨年7月の90周年記念講演で登壇した不破哲三社会科学研究所所長の「日本共産党の90年をふりかえる」を再読した。

不破さんは、戦前の天皇制国家による共産党へのあらゆる弾圧と迫害、戦後はソ連のスターリン専制国家や中国共産党毛沢東らの攻撃との闘い。70年代の党の躍進。その後、反共戦略のオール与党体制や二大政党づくりも、衣装の着せ替えだと国民に見抜かれ始め、「アメリカ言いなり・財界言いなり」政治に未来はないことを詳述。不破さんは「こういう歴史の中で日本の現状を見る時、私は、いま日本社会は迫りつつある大きな転換の前夜にあるのではないかと、こういう予感を痛切に感じます」と述べていたことにハッと改めて認識。1年後にその「予感」のプログラムなのだから今年の記念講演は楽しみ。(編集室)

党創立91周年
記念講演

のり子の週間日誌

(主なもの)

- 8月2日 市駅前宣伝、地域訪問
- 3日 河西診療所夏祭り、ウォーキングクラブ懇親会
- 4日 党の会議、中学同窓会準備会
- 5日 休み
- 6日 県議団会議
- 7日 調査
- 8日 無料生活相談日

中之島地区の中西さん(左から2人目)と有功地区の正木さん(右端)。左端は海南市の川野さんと、長島愛生園歴史館の玄関前で。



バス路線の開設

6月議会の総務委員会で当局から報告のあった「廃止対象バス路線の存廃については6月20日のプログラムでもお知らせしていますが、先日当局より、来月8月1日から「さんさんセンター紀の川」を起終点とする新たなバス路線が和歌山バス那賀により新たに開設されること」との報告がありました。運行ルートは、公立那賀病院と紀の川市役所と紀伊駅前とさんさんセンター紀の川となっています。運行便数は、平日1日1往復(22便)、土休日1日7.5往復となっています。

「さんさんセンター紀の川」でのバス利用は地元住民のみならず

「さんさんセンター紀の川」を起終点に新たな路線

の取り組みとともに、先輩議員や私も議会で取り上げてきました。実現しましたが、利用時間のタイミングが合わない、いつも利用出来るわけではない等の理由で利用数は増えず、事業者として昨年、市に対し廃止の方向が示されました。和歌山市は暫定措置として1年間事業者への補助を負担し、運行路線の見直しや利用者数の増加を自治会に働きかけるなど積極的に取り組み、「乗車率の改善がみられたことにより存続すること」となり、「さんさんセンター紀の川」の新たなバス路線の開設へと繋がりました。

国策として公共交通事業者の運営が登録制から届け出制に大きく変わったことがバス路線の廃止を安易にしています。マイカーの増加に伴い、公共交通事業者が経営難に陥り廃線となっていくことをくい止めるには、利用者数を増やすことです。せっかく利用者を増やす対策として新たな路線に改善されたのですから多くの方々の利用を！と呼びかけます。

ハンセン病療養者と
ふれあい事業に参加

そのためには過去の歴史をしっかりと知ることが大事だと痛感しています。私は毎年県事業のハンセン病療養所入所者とのふれあい事業に参加しています。入所されている方は高齢で今は治癒していませんが視力障害や四肢の知覚麻痺などの後遺症があります。

今も偏見と差別の中で気持ちよく故郷へ帰れない状況があると云います。適切な治療をすれば治る病気になっていたにもかかわらず国策として強制収容が続けられていた問題は許せません。

さまざまな差別と偏見を生み出してきた背景と、もことなる原因をしっかりと考えてゆきたいと思えます。そして、若い人たちにも広げられるよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(S.N)

Relay talk

リレートーク

市議会議員
南畑 幸代



Relay talk